

News



香りと図書館の取り組みについて話す夏井芳徳館長(在日オーストラリア大使館イベントホール)

図書館の香りで癒され 穏やかで優しい気持ちに いわき総合図書館 館長が取り組みを発表

エアアロマジャパンは福島県出身の学生たちとともに1年間取り組んできた「ふくしま香 LINK プロジェクト」で決定した「ふくしまの香り」を発表するイベントを2017年8月25日に在日オーストラリア大使館で実施しました。

プロジェクトメンバーの学生たちが、第一期の活動と「ふくしまの香り」を使った今後の活動提案を発表、また、「ふくしまの香り」を実際に導入していただいている、いわき市立いわき総合図書館の夏井芳徳館長にもご登壇いただき、香りを導入いただいた経緯や「ふくしまの香り」が香る図書館についてお話いただきました。

夏井館長はスピーチの中で特に「私どもの図書館の香りで、利用者の皆さんが癒され、穏やかで、優しい気持ちになっていただければこんな嬉しいことはありません」と話されました。

この発表は地元新聞の「福島民友」でも「本県の魅力を伝える香り」というタイトルで取り上げられました。「福島県出身の学生らと協力して作った、福島県の魅力を伝える9種類の香りを東京都内で発表(中略)緑色の「ふくしまの緑」は福島県の豊かな自然と生命力をイメージした。いわき市のいわき総合図書館で採用されるなど、福島県の香りは広がりをみせている。」(2017年9月1日付)

Interview

香りは五感の中でも、記憶に残るもの 香りのストーリー性を利用者に伝えたい

いわき市立いわき総合図書館の夏井芳徳館長に、香りを図書館へ入れていただいた経緯、香りを入れてからの図書館の変化についてお聞きしました。

—香りを導入された理由を教えてください

福島県の学生や若い人たちと一緒に、福島県、そして福島の人たちを元気にしようとしているプロジェクトだったため、強く心を動かされました。また、香りは五感の中でも、最も記憶に残るものとお話をお聞きし、応援する価値があるとも感じました。さらに、香りにはストーリーがあるということも、プロジェクトに共感した理由のひとつです。香りに込められたストーリーを図書館の利用者の皆さんに伝え、共有することができれば、素晴らしいことになると思いました。今後、私どもの図書館に香りがあることで、利用者の皆さんが癒され、穏やかで、優しい気持ちになり、図書館をいとおしく思い、また、他の利用者のことを思いやりながら、図書館を利用していただけるようになるのではないかと考えています。

—香りを導入された理由を教えてください

図書館は読書や勉強をするだけの空間ではなく、心地よく快適に自分の時間を過ごしてもらい空間でもあると捉えています。そのような空間をどのようなかたちで作り上げることができるかを考えた時、私どもの図書館は自然の少ない街中にある施設ですので、エントランスの外、窓ガラス越しに見える檜の木をうまく活用して、館内に自然がある図書館を演出したいと考えました。そして、今回、プロジェクトで提案された「ふくしまの緑」の香りをベースに、檜の木の香りをアレンジしていただいた香りを漂わせることで、外の檜の木と室内を繋げ、自然をうまく演出できたと考えています。利用者の皆さんからは、好評をいただいています。



図書館5階エントランスから見える檜の木

いわき市立いわき総合図書館の香り



香LINKプロジェクトに一番はじめにご賛同いただき、香りを導入した、いわき市立いわき総合図書館。図書館へ入ると真っ先に目に入るシンボルの檜の木から漂う香りをイメージしてブレンドされた、いわき市立いわき総合図書館オリジナルの香りをエントランスで演出しています。若々しさを感じさせる明るい元気な緑をベースにしたこの香りは、柑橘系のライムやレモンをブレンドし、檜の木の向こうから吹き込んでくるいわきの風の爽やかさを表現しました。

About Project

ふくしま香 LINK プロジェクト

ふくしま香 LINK プロジェクトは福島出身の学生と社会人、Air Aroma Japan が共同でチームを組み、福島県のイメージをどのように香りでブランディングできるのかを検討するプロジェクトです。

香りは「感情」と「記憶」に深く結びついており、言葉で伝わらないたくさんのメッセージを送ることができます。人間は10,000種類の匂い成分を嗅ぎ分けられ、1日の感情の75%は嗅覚から影響を受けていると言われています。香りを効果的に使っていくことで、美しい福島を想起させ、人の記憶にあるものを呼び起こすようなメッセージの発信を可能にします。

ふくしま香 LINK プロジェクトでは、福島出身の学生たちが「福島県の魅力を伝えたい」「原発事故からの風評払拭や風化防止につなげたい」とプロジェクトを通して復興の概念を形にする手法やプロセスを学び、県内外に向けて発信したいメッセージを込めた「ふくしまの香り」を作りました。

第1期は福島、東京それぞれで4回のワークショップを行い、福島のもの、こと、場所をイメージする色を9色選び、それぞれの色に合わせたオリジナルの香りを学生たちと一緒に考えながらブレンドしました。その香りのうち、緑をベースにした香りは、プロジェクト後にいわき市立いわき総合図書館に導入されています。



第2期は「観光」をメインテーマに、香りを使った発信を考え、実践していきます。その一つとして2018年2月に南会津郡下郷町で開催される「なかやま雪月火」で香りの演出を行います。

過去の香 LINK プロジェクトの活動内容、
これからの活動のご報告は
下記サイトをご覧ください。



About The Air Aroma Times

発行元: Air Aroma Japan 株式会社 www.air-aroma.co.jp 文責: 吉田
158-0097 東京都世田谷区用賀4丁目10番3号 世田谷ビジネススクエアヒルズ2 Office: 03 3709 1836 Fax: 03 3709 1837

Air/Aroma

アロマに関するご意見・ご質問等、随時募集しています。
mariko.yoshida@air-aroma.com